



夏の交通事故防止に向けて 交通安全イエロー作戦

夏の交通安全運動に合わせたイエロー作戦が7月14日、国道234号で行われました。栗山ロータリークラブの会員など約20人が参加。参加者は「シートベルト着用」「スピードダウン」などと書かれた旗を持ち、運転手に交通事故への注意を呼びかけました。なお、イエロー作戦は栗山老人クラブ連合会が7月15日、角田交通安全友の会が7月20日にも実施しました。



飲酒運転ゼロを目指して 飲酒運転根絶見廻り隊結成式

飲酒運転根絶見廻り隊の結成式が7月13日、カルチャープラザ「Eki」で行われました。栗山交通安全指導員部が主催し、飲酒運転による交通事故の防止を目的に活動します。結成式の後は第1回パトロールを実施。隊員は6班に分かれ、町内の飲食店などを見廻りながら、飲酒運転根絶の啓発グッズを配布しました。飲酒運転根絶パトロールは、毎月13日に行われる予定です。



里山の環境を楽しく学ぶ 栗山キッズクラブが里山体験

サンベツ里山で6月28日、栗山キッズクラブ事業が行われました。7月に羽化するホタルのため、幼虫のエサになるカワナという貝を川の中から探し、幼虫と一緒に放流したほか、近くの湿原にミズバショウの苗を運び、植え替えをしました。また、火薬庫の沢の奥にある広場を秘密基地にする計画を立て、どのようなことをしたいかを話し合いました。



住民と協働で町内清掃 栗山小学校「クリーン作戦」

栗山小学校で6月27日、土曜授業「くりっ子クリーン作戦」が行われました。全校児童が11のグループに分かれ、地域住民や保護者の方とともに、町内の公園や道路などを清掃しました。出発前には、新型コロナウイルス感染症対策として、児童の手を消毒し、手袋を二重にして対応。児童はタバコの吸い殻や空き缶などを手際よく拾っていました。



消防防災力強化に事業所が協力 消防団協力事業所表示証交付式

南空知消防組合で7月21日、消防団へ積極的に協力している事業所に対して、消防団協力事業所表示証を交付しました。今回交付されるのは、そらち南農業協同組合で、組合管内4町（栗山・由仁・長沼・南幌）では7事業所目の認定となります。現在、消防団員は組合管内4町で464人、本町では134人が地域の安全安心を守る活動をしています。



町民との触れ合いを大切に 介護学校で町長が特別講義

北海道介護福祉学校で7月16日、佐々木町長の特別講義が行われました。はじめに、町の独自支援である修学応援給付金の授与が行われ、2年生の佐藤莉緒さんと1年生の松平奈緒さんが目録を受け取りました。その後「栗山町の魅力・ブランドを活かしたまちづくり」をテーマに、佐々木町長が1年生に講義。栗山町の成り立ち、名産、事業などを紹介しました。



次の時代の農業を学ぶ くりやま農業未来塾第10期開塾式

くりやま農業未来塾の第10期開塾式が7月8日、役場会議室で行われました。町内の農業後継者や新規就農者を対象に、農業の生産技術や経営戦略などの幅広い分野を2年間学びます。今回10期生となったのは若手農業者6人。塾生たちは「ICTの活用など、農業の先進的な取り組みを学びたい」と話していました。



オオムラサキ館から幼虫を借り受け 角田小学校でオオムラサキが羽化

角田小学校で飼育していたオオムラサキが、7月3日に羽化しました。ふるさといきもの里オオムラサキ館から幼虫1頭と、そのエサとなるエソエノキの苗木を借り受け、校長室で飼育を開始。子どもたちは毎朝、校長室を訪れて「ハナちゃん」と名付けたオオムラサキの幼虫を観察して成長を見守りました。羽化したオオムラサキは、オオムラサキ館の飼育舎で飼育されています。

